

URL <http://aomori.lin.gr.jp>

# 畜産協会だより

Vol.15

発行  
社団法人 青森県畜産協会

## 新マルキン事業 毎月補てん延長へ

### 肉用牛肥育経営安定特別対策事業「新マルキン事業」について

#### 1. 事業概要

肉用牛経営の安定を図るため、生産者の拠出（生産者積立金）と国の助成（補助金）（生産者：国＝1：3）により基金を造成し、四半期ごと（平成23年7月～12月までは月ごと）の肥育牛1頭当たり平均粗収益が平均生産費を下回った場合に、その差額分の8割を生産者に補填する仕組みである。

しかし、平成23年3月11日の東日本大震災や福島第1、第2原子力発電所事故の影響により、経営環境が一層悪化したことから、平成23年7月～9月出荷分については、7月以降、毎月補填する措置を行ってきたところであり、10～12月出荷分についても毎月補てんが引き続き行われることとなっている。

#### 2. 平成23年度補填金交付実績（1頭当たり補填金交付単価）

##### ①平成23年度第1四半期（平成23年4月～6月販売分）

- ・肉専用種：33,200円／頭
- ・交雑種：51,300円／頭
- ・乳用種：49,600円／頭

##### ②平成23年7月期～9月期（平成23年7月～9月販売分）

	平成23年7月期	平成23年8月期	平成23年9月期
肉専用種	74,200円／頭	83,800円／頭	73,300円／頭
交雑種	99,400円／頭	89,000円／頭	108,100円／頭
乳用種	59,300円／頭	57,500円／頭	73,900円／頭

##### ③今後の補填金交付スケジュール（交付時期）

平成23年10月期	平成23年12月下旬交付予定
平成23年11月期	平成24年1月下旬交付予定
平成23年12月期	平成24年2月下旬交付予定

#### 3. 事業への加入促進

新マルキン事業は、3ヵ年1業務対象年間の事業であり、今業務対象年間は、平成22年4月から開始となり平成24年度で終了となることから、現在未加入であっても事業参加要件をみたせば事業へ参加できるため、まず最寄の農協等へ相談して下さい。

# 肉用牛肥育経営緊急支援事業「5万円事業」について

## 1. 事業概要

平成23年3月11日の福島第1、第2原子力発電所事故の影響により、枝肉価格の低下から資金繰りが悪化し経営の継続が困難となった者に対し、独立行政法人農畜産業振興機構の補助により、肉用牛肥育経営に対する「つなぎ融資資金」として緊急支援金を事業対象牛1頭当たり50,000円を交付した。

なお、返還に当たっては、詳細が決まり次第周知する。

## 2. 緊急支援金交付実績

平成23年10月7日付で、78事業対象者へ1,324,800,000円を交付。

	交付頭数	交付額
肉専用種	4,196頭	209,800,000円
交 雑 種	5,923頭	296,150,000円
乳 用 種	16,377頭	818,850,000円
合 計	26,496頭	1,324,800,000円

## 3. 緊急支援金返還スケジュール

返還時期等は、独立行政法人農畜産業振興機構で検討中である。

## 生産者補てん金 交付状況

### ○肉用子牛生産者補給金交付状況（23年11月14日交付）

品種区分		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種	乳用種	乳用交雑種
保証基準価格		310,000円	285,000円	204,000円	116,000円	181,000円
合理化目標価格		268,000円	247,000円	142,000円	83,000円	138,000円
平成23年度 第2四半期 (7月～9月)	平均売買価格	382,300円	326,600円	102,300円	94,700円	218,300円
	交付単価	—	—	97,730円	21,300円	—
	交付額	—	—	4,691,040円	19,574,700円	—

### ○肉用牛繁殖経営支援事業支援交付金交付状況（23年11月14日交付）

品種区分		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種
発 動 基 準		380,000円	350,000円	250,000円
保証基準価格		310,000円	285,000円	204,000円
平成23年度 第2四半期 (7月～9月)	平均売買価格	382,300円	326,600円	102,300円
	交付単価	—	17,500円	34,500円
	交付額	—	0円	1,656,000円

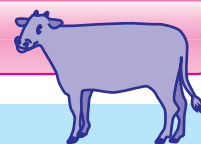
### ○養豚経営安定対策事業 補てん金交付状況

	保証基準価格	枝肉平均価格	補てん金単価	補てん金交付額
平成23年度 第1・2四半期 (4月～9月)	460円/kg	483円/kg	0円/頭	0円

### ○肉用牛肥育経営安定特別対策事業（新マルキン事業）の交付状況 ※平成23年度10月～12月期も毎月補てんを実施

	肉専用種	交雑種	乳用種	交付日
平成23年度8月期	83,800円	89,000円	57,500円	10月21日
平成23年度9月期	73,300円	108,100円	73,900円	11月22日

# 青森県家畜市場成績（七戸）



## 子牛 市場成績表 【開催日 23年10月7日】

### 1、販売価格 税込み 【子牛】

品 種	性	今 回 分							前 回 分			Kg単価 増減
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格	Kg単価	
黒毛和種	雄								1	189,000	771	
	去	269	619,500	37,800	437,546	296	312	1,401	270	410,208	1,339	62
	雌	200	784,350	127,050	342,195	307	281	1,217	188	322,808	1,121	96
	【小計】	469	784,350	37,800	396,884	301	299	1,327	459	373,928	1,252	75
日本短角種	主	21	506,100	220,500	357,200	293	284	1,259	31	347,008	1,235	24
	雄											
	去	1	63,000	63,000	63,000	248	284	222				
	【小計】	1	63,000	63,000	63,000	248	284	222				

・黒毛和種の取引頭数は469頭で、前回より雄で1頭減、去勢1頭減、雌で12頭増、全体で10頭増となった。  
 ・黒毛和種の平均価格は397千円で、前回より去勢で27千円高、雌で19千円高、全体で23千円高となった。

### 2、主な種雄牛の販売価格 税込み 【子牛】

名 号	去 勢					雌					合 計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花国	137	453,201	316	1,435	297	104	353,527	285	1,240	308	241	410,188	1,356	301	51.4
北平安	20	396,008	308	1,284	305	15	314,440	284	1,106	310	35	361,050	1,211	307	7.5
第2花国	7	377,550	306	1,233	303	14	286,350	255	1,124	309	21	316,750	1,165	307	4.5
第2平茂勝	13	429,692	313	1,372	295	8	312,244	282	1,108	319	21	384,950	1,278	304	4.5
安茂勝	22	458,086	314	1,458	288	12	362,600	289	1,254	299	34	424,385	1,390	292	7.3
茂勝栄	10	476,910	320	1,490	293	7	330,900	293	1,130	290	17	416,788	1,350	292	3.6
総合計	269	437,546	312	1,401	296	200	342,195	281	1,217	307	469	396,884	1,327	301	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は「第1花国」で51.4%、次いで「北平安」7.5%となった。  
 ・第1花国の平均価格は410千円で、前回に比べ30千円高となった。単価は1,356円で前回より93円高となった。

## 【開催日 23年11月11日】

### 1、販売価格 税込み 【子牛】

品 種	性	今 回 分							前 回 分			Kg単価 増減
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格	Kg単価	
黒毛和種	雄											
	去	302	664,650	33,600	452,265	300	310	1,460	267	437,862	1,401	59
	雌	223	800,100	42,000	379,182	308	291	1,305	200	342,090	1,217	88
	【小計】	525	800,100	33,600	421,222	303	302	1,396	467	396,846	1,327	69
乳用交雑種	主	32	647,850	265,650	396,998	288	283	1,404	23	355,722	1,256	148
	雄											
	去	1	73,500	73,500	73,500	258	204	360				
	【小計】	1	73,500	73,500	73,500	258	204	360				

・黒毛和種の取引頭数は525頭で、前回より去勢35頭増、雌で23頭増、全体で58頭増となった。  
 ・黒毛和種の平均価格は421千円で、前回より去勢で14千円高、雌で37千円高、全体で24千円高となった。

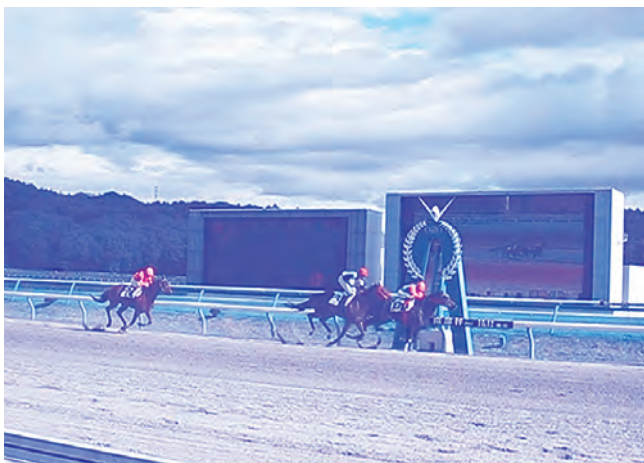
### 2、主な種雄牛の販売価格 税込み 【子牛】

名 号	去 勢					雌					合 計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花国	169	454,675	307	1,480	302	119	393,944	294	1,338	309	288	429,581	1,423	305	54.9
北平安	22	420,286	305	1,378	302	11	356,809	287	1,243	318	33	399,127	1,335	307	6.3
第2花国	12	410,025	302	1,357	297	12	339,238	285	1,192	319	24	374,631	1,277	308	4.6
第2平茂勝	12	439,863	301	1,461	302	11	332,373	282	1,179	310	23	388,454	1,331	306	4.4
安茂勝	16	497,634	332	1,498	295	11	349,173	281	1,242	304	27	437,150	1,404	299	5.1
茂勝栄	15	467,390	324	1,441	299	5	361,830	302	1,200	315	20	441,000	1,384	303	3.8
総合計	302	452,265	310	1,460	300	223	379,182	291	1,305	308	525	421,222	1,396	303	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は「第1花国」で54.9%、次いで「北平安」6.3%となった。  
 ・第1花国の平均価格は430千円で、前回に比べ19千円高となった。単価は1,423円で前回より67円高となった。

次回開催日は12月9日（金）です。

## 毎年恒例！盛岡競馬ツアー



10月9日（日）、馬事畜産振興協議会（事務局畜産協会内）と軽種馬生産農業協同組合の共催で恒例の岩手県盛岡競馬ツアーを開催した。参加費は大人3,000円（バス代、弁当等含む）で、参加者は青森市と八戸市の2ヵ所から大人57名、子供3名の60名が参加した。大型バスで盛岡市に向けて出発し、第2レースから最終第11レースまで競走馬の臨場感あふれる走りを体感した。

また、場内には1本でおなががいっぱいになるほどのボリューム満点の名物「ジャンボ焼き鳥」や盛岡名物の冷麺・じゃじゃ麺が人気だったほか、子供向けの遊具エリア等も充実しており、家族で1日楽しむことができた。

このツアーは毎年実施しており、来年はぜひ参加して家族ぐるみで楽しんでもらいたい。

地方競馬の振興と東日本大震災被災地支援を兼ねて10月16日（日）、岩手県盛岡競馬場で青森県馬事畜産振興協議会（青森県畜産協会内）、岩手県競馬振興協議会、福島県馬事畜産振興協議会の3県共催で畜産フェアを開催した。

当日は一時小雨に見舞われたが概ね秋晴れの競馬日和に恵まれ、午前10時の開門と同時に岩手県・青森県・福島県の順に畜産物引換券を配布し、13時から閉門まで畜産物の引換を行った。

配布畜産物は青森県がトキワ養鶏のこめどりウインナー・味付け卵（3個入り）・りんごジュース1缶を1セットにして400セットを競馬ファンに配布した。

共催の岩手県はウインナーとモツ煮込み700セット、福島県はチーズ、バター75セットを配布した。

今後とも地方競馬振興のため各県合同で継続的にフェアを開催することとしており、開催日等については畜産協会だより又は協会ホームページでチェックしてほしい。

## 盛岡競馬畜産フェアの開催



## 日本短角種 子牛市場視察



10月25～26日、岩手県雫石町にて開催された日本短角種の子牛市場を視察した。毎年秋に行われ、上場頭数が2日間で1000頭近くにもなる本市場は「短角の秋市場」と呼ばれ、年に1度の岩手の風物詩にもなっている。

2日間の売買成立頭数は877頭、1頭当たりの価格は雌が前年比101%の127千円、去勢が前年比102%の120千円、総平均は前年比102%の123千円となった。

新たな大口購買者の高値購買により昨年の価格を僅かに上回ったが、岩手県内肥育者の購買頭数は約200頭と昨年の400頭から大きく減少し、岩手県外購買者の依存度が高まった市場となった。

## エコフィードPRイベント



十和田エコフィード推進協議会は、10月8日（土）道の駅とわだ、10月9日（日）北里大学獣医学部の学園祭において、住民へ向けたエコフィードの取組みについて普及・啓蒙活動を実施した。

具体的にはパンフレットの配布と昨年の実施内容をパネル展示し、来場した住民へ取組みについて説明を行った。説明を受けた来場者たちは、協議会の活動について「必要なことだね。」と理解を示した。

北里大学では学生を対象に普及を図り、今後興味がある学生を集めた協議会委員と座談会などを検討している。

10月27日～28日、宮城県で「平成23年度北海道・東北ブロック職員等研修会」が開催された。当初福島県で開催予定だったが、震災の影響により宮城県蔵王町での開催となった。社団法人中央畜産会の菱沼毅副会長ほか各県から38名が参加した。

1日目は、中央団体等の情勢、要望など説明及び意見交換が行われ、2日目は「爽健美茶」の茶殻を使ったエコフィードを活用している（財）蔵王酪農センターを視察した。

平成24年度は福島県で開催予定。



11月10～11日、秋田県秋田市において、肉用子牛価格安定基金東北・北海道ブロック協議会が開催された。東北・北海道の各畜産協会と各道県庁の畜産課に加え、農林水産省や農畜産業振興機構、全国肉用牛振興協会の担当者が出席し、肉用子牛補給金制度の取り組み状況や、協会を取り巻く情勢について協議が行われた。

生産者積立準備金に関する期中返還の事務手続きや他県での生産者補給金制度における問題点等、制度を改善するための意見交換を行った。

また、今年3月に起こった東日本大震災の被害を受けた岩手県・宮城県・福島県の各協会から、震災後の畜産の現状と課題及びその対応について報告があった。東日本大震災の被害の大きさを再認識するとともに、各地の畜産復興に向けた課題等について情報交換した。

今回は来年、岩手県で開催する予定として閉会した。

## 北海道・東北ブロック職員等研修会



## 畜産経営セミナー



（太田講師）



11月15日、十和田市のサン・ロイヤル十和田において畜産経営セミナーが開催された。講師に近畿中国四国農業研究センター太田研究拠点専門員の三橋忠由氏を招き、「これからの和牛（黒毛和種）生産戦略」について講演が行われた。講演では耕作放棄地を利用した飼料生産戦略や脂質及び増体の優れた牛を遺伝的に選別し、ブランド化する戦略などが紹介された。



11月24日、つがる市柏ふるさと交流センターにおいて、「平成23年度西北地域肉用牛経営安定研修会」が開催され、西北地域県民局管内のJA及び生産者等が出席した。

研修会では、ジャパンカーフクリニックの矢田谷 健氏ほか2名の講師が放牧衛生を取り巻く情勢や家畜伝染病予防方法の改正ポイント、肉用牛の生産性向上について講演を行った。

# 原発事故に係る風評被害の損害賠償請求について

損害賠償対策青森県協議会は、東京電力(株)福島第1原子力発電所事故に係る風評被害の損害賠償について、7月8日出荷以降の牛肉を対象に、第1次請求（7・8月分）として、3億3千万円の損害賠償請求額を取りまとめ11月15日に東京電力(株)に請求書を提出した。

第2次請求として、9・10・11月分及び第1次請求遅れ分の未請求分について引き続き損害賠償額の取りまとめを行うこととしている。

また、新たに子牛等についても7月8日以降、市場価格の下落が認められることから損害賠償の算定方法を定め賠償請求の取りまとめを行うことになった。

損害賠償対策青森県協議会は、県内農協グループで設立した組織で畜産関係団体と連携して、県内全ての畜産農家を網羅して賠償請求を行う。

## 1. 問い合わせ先・提出先

農業協同組合、畜産団体（県畜産農業協同組合連合会、畜産農業協同組合、全国開拓農業協同組合連合会青森事業所、県配合飼料価格安定基金協会）

## 2. 提出書類

- (1) 委任状（振込先口座）……「損害賠償対策青森県協議会長あて」
- (2) 農家別家畜資産台帳（牛肉）
- (3) 価格下落等の被害に係る報告書（子牛他）
- (4) 証拠書類……牛個体識別情報、子牛の購入伝票等、黒毛和種子牛登記簿、授精証明書（交雑種の場合）、牛枝肉販売明細書（仕切書）、放射線検査領収書（写し）などの書類
- (5) 提出期限（第2次分）
  - ① 牛肉……1月10日、② 子牛等……1月10日

※11月15日に提出していた第1次請求については、東京電力より12月2日に概算金として請求の90%を支払ったとの通知がありました。

## 株式会社安愚楽牧場について

和牛オーナー制度で出資会員を集めていた「株式会社安愚楽牧場」（本社：栃木県那須塩原市）の経営が平成23年8月15日付けで破綻し、民事再生手続きを進めていたが、東京地方裁判所は平成23年11月8日付けで民事再生手続きの廃止を決定した。

なお、平成23年12月8日までに異議申し立てがなければ破産手続きに移行することとなる。

# 産業動物獣医師修学資金制度

## 共同負担者を募集しています!!



### 修学資金制度とは

牛、豚などの家畜を診療する獣医師（産業動物獣医師）を養成・確保し、家畜の伝染性疾病の予防・まん延を防止のための体制や畜産物の安全確保のための体制を整備するものです。

### 修学資金制度の概要

1. 貸与額 月額10万円以内（私立大学の学生：月額12万円以内）  
（大学卒業後の就業予定先である雇用予定団体と、国が折半して負担します。）
2. 獣医師免許取得後、修学資金の貸与期間の1.5倍の期間、雇用予定団体に就業すれば修学資金の返還を全額免除

### 対象となる学生

1. 獣医学課程のある大学において、獣医学を専攻する者
2. 産業動物獣医師として従事しようとする者

修学資金の1/2を負担する雇用予定団体を募集いたします。産業動物獣医師を確保するため、修学資金の共同負担（国と折半して負担）をご希望される方は、下記の連絡先までお問合せください。

家畜衛生課 TEL 017-722-4331 FAX 017-731-1196  
E-mail eisei.aotiku@road.ocn.ne.jp

## 中央畜産会刊行図書のご案内

月刊誌「畜産コンサルタント」  
(毎月1日発行)

2012年用 畜産手帳  
CHIKUSAN DIARY 2012



創刊以来40年以上、畜産総合誌として数々の話題、問題の提起をしてきました。経営、技術、流通、時事など、毎号特集を組み問題点の掘下げと追求を行い豊かな内容とわかりやすい情報を提供しています。

#### 【価格】

1部	定価 945円(税込み) + 送料 100円
6ヶ月	6,270円(送料込み)
年間	12,540円(送料込み)



- 仕様 高級発泡シート（ポケット付き）
- サイズ 140mm×80mm
- 価格 840円（消費税込）

10冊～99冊の一括注文の場合760円  
100冊以上の一括注文の場合670円  
(送料は1冊200円、複数冊320円)

#### ■主な掲載内容

- 中央官庁・地方庁・団体・会社・道府県畜産会等の住所録
- 畜産各種統計・主要国の家畜生産状況
- 家畜繁殖関係（受精・妊娠等）
- 家畜改良増殖目標
- 飼養管理、飼料、営農、生産物
- 畜産物の取引規格
- その他関係資料

ご注文、問合せは総務課まで TEL 017-723-2523



## インフォメーション



## 畜産技術研修会を開催します

- 開催日時：平成23年12月14日（水）11：00～15：00
- 演 題：「優良農場の飼養管理について」  
（繁殖親牛の栄養と哺乳・育成管理方法）
- 講 師：オバナヤ・セメンテックス株式会社 青木 勇二 氏
- 場 所：きざん八戸（八戸市長苗代前田32-1）

問合せ：家畜衛生課  
TEL 017-722-4331

## 🍴 無料試食会を開催します！！ 🍴

青森シヤモロツク鍋  
無料試食会！！

平成23年12月23日（金）

先着1000食（無料）

開催場所：弘前城 二の丸（下乗橋向かい）  
開催時間：17:00～19:00（予定） 無くなり次第終了

問合せ：経営支援課 TEL 017-723-2775



ビルの上にいる牛が目印です。



## MAP



## 社団法人 青森県畜産協会

〒030-0822 青森県青森市中央二丁目1番15号（畜連ビル）

総務課 Tel(017)723-2523(代) 家畜衛生課 Tel(017)722-4331  
経営支援課 Tel(017)723-2775 価格安定課 Tel(017)718-3809

FAX (017)731-1196

URL <http://aomori.lin.gr.jp> E-mail [info@aomori.lin.gr.jp](mailto:info@aomori.lin.gr.jp)